

# 急がれる病院のLED化! 2027年 蛍光管製造禁止



2023年11月3日 水銀に関する水俣条約締結国会議

23年11月3日のスイスジュネーブでの水俣水銀条約締結国会議で2025年コンパクト蛍光管の製造禁止、2027年直管蛍光管の製造禁止が決議されました。日本の地球温暖化対策のほうは、国民生活に支障をきたさないペースで実効を上げていくという緩い方針で、2050年カーボンニュートラルというのも、その頃には生きていく関係者はいないのではないかというほどのペース配分です。

**電気料金の高騰とカーボンニュートラルの要請で全国の病院や医療施設のLED化が進んでいます。ここに蛍光管製造禁止という大問題が発生しました。**

蛍光管が無くならない

これに比べると、水銀規制のためにあと3年で何百万のコンパクト蛍光管をLED照明に替えて、世界中の蛍光管を製造禁止にしようなどとは暴挙以外の何物でもありません。何故ならば日本中の蛍光管がそれまでにLED化出来ないで、最後の蛍光管が切れた時点でその建物は停電(不点灯)になるのです。建物の中で1本や2本の蛍光管が切れていてもお愛想ですが、病院すべての照明に寿命が来て、その時にLEDの供給が間に合

合わないとなると深刻な事態です。道路、トンネル、橋、港湾、空港のすべての照明も寿命が来る前に交換しなくてはなりません。ナトリウム灯は2023年9月にすでに受注受付を終了し2024年4月からは配送を終了しています。もう球を在庫しておいておくこともできないのです。政府と日本中の自治体が目標としているカーボンニュートラル実行計画の「2030年完全LED化」です。夢物語も取らないまま強制的に蛍光管を製造禁止にしてしまっただけです。

あと4年の間に日本中のすべての民間施設と公共施設、病院、学校、街路灯、防犯灯を交換しなくてはなりません。そのときに全国隅々にLED資材が回ってくるとき、人手不足の電気工業業界が膨大な仕事を終了できるのか、今すぐ考えるべき危機的状況です。

**絶対的にモノが足りない**

そもそも一体どれだけ照明器具が日本にあるのか環境省にも経産省も調査も検討していません。民間企業3百万社の560万事業所でもまだLED化が終わっていない事務所、工場、商店が一緒にLED化に走りだします。1780都道府県、市町村は、公共施設と街路灯、空港などは何十万もの国有施設と港湾、空港などの公共インフラを全てLED化してしまわなければならない。総延長1300万kmの道路にどれだけの街路灯があるのか誰も教えてくれない。

環境省水銀対策課は、事前に経産省と照明工業会に了解を取ったと言っていました。当事者の日本照明工業会は何を考えていたのか。あと3年でこの膨大な

## あかりみらい新聞

発行元 **akarimirai** あかりみらい  
札幌本社 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌ビル4階  
東京支社 東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階  
大阪支社 大阪府大阪市北区梅田2丁目2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階  
沖縄支社 沖縄県那覇市久茂地2丁目19-5  
0120-760-814  
フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

# レプリコンワクチン接種の一時中止を

10月1日から65歳以上への新型コロナワクチン接種が始まりました。この5種類のワクチンの中でMeiji Seikaファルマ(株)が製造するレプリコンワクチンについては、副作用の他に世界の研究者からシエディング(伝播)の可能性が警告されています。メーカー自身が警告しているところの65歳以上や基礎疾患がある人間、過去に発熱した人間への接種の危険性など、多くの人が亡くなっているワクチン接種の副作用や後遺症については自己判断による自己責任ともいえますが、ワクチンを打たない人たちが、ワクチンを打つことによる危険性が大きい人たちにこのmRNAが伝播(感染)していくことの可能性を知らせてはなりません。

美容院を始めとする多くの店舗で「レプリコンワクチン接種者の入店禁止」という根拠のない風評による張り紙が貼られています。これはエイズのように似ています。マスク警察と同様に、ワクチン警察がワクチン接種者を差別し始めています。

レプリコンワクチンが打つた自治体の住民や産品が風評として差別され、社会がスタスタに分断されることが容易に想像されます。海外の報道では日本国民の入国拒否や日本への渡航禁止、食品不買運動など国際的なロックダウンの可能性も報じられています。

米国で開発されたベトナムで人体実験されながら両国で認可されなかった、世界中で日本でしか認可されていないレプリコンワクチンを国民にその危険性を知らせないまま接種する事は大きな間違いです。

自治体の首長、議員、ワクチン接種責任者、接種病院院長、医療従事者はそれぞれの自治体でMeiji Seikaファルマ製のワクチンの接種を一時保留してください。伝播の危険性がないことを政府に確認するまでは他社の4種のワクチンから選んで接種してください。自分たちの判断で安全性が確認出来てから、対策が判明してから、改めて5種のワクチンから選んで再開してください。

最低限、10月1日前にこのレプリコンワクチンの危険性

と社会混乱の可能性について接種会場に訪れる住民に事前告知してください。知らないままで家族や打ってはいけない人たちに伝播させることで副作用や後遺症を発生させるようなことが起きたら歴史的な薬害事件になります。

接種会場に「レプリコンワクチンは伝播の可能性があるとされています」という警告書を貼ってください。5種の中からMeiji Seikaファルマのレプリコンワクチンを選んでしまった病院は他のワクチンへの変更を検討してください。

これは陰謀論ではなく、現実に数年がかりで仕掛けられている米国のワクチン業界による利権陰謀そのものです。国内メディアも取り上げず、自治体にも国民にも知らされな

**緊急メッセージ**  
**打ってはいけない!**  
-レプリコンワクチンの不都合な真実-  
川田龍平 堤未果  
検索 ↓ 次亜塩素酸水溶液普及促進会議

照明資材の供給ができるはずがありません。だれも総量把握していないのですから、生産計画が立つはずがないのです。半導体不足が足りなくて車が2年待ちになる、咳止め薬が足りなくて病院に行列ができる、マスクが足りない、アルコールが足りない、ワクチンが足りないというライチエーション問題であれほど大騒ぎしている中で、次はLED照明が足りないという大問題が発生します。

照明資材の供給が間に合わないで蛍光管が切れた時点で照明が調音されるまでの間は長期停電(不点灯)です。病院や学校や公共施設にそれが許されるでしょうか。絶対的にヒトが足りない、全国の電気工業業界は絶対的な人手不足です。景気が回復している中で特に今年度は熱中症対策として学校等へのクーラー設置の仕事が殺到して年内は他の仕事に手をつける暇はないとの観測です。絶対的な人手不足の中で期限を切られてしまっただけです。

今年4月1日からは働き方改革で建設業にも土日、時間外業務の制限が始まりました。今までは営業中は夜間や土日に患者のいるところで工事させるやなくならず。今年の年末休業などに向けて全院改修の計画を立ててはならない。さらに、昨年規制強化された大気汚染防止法によりアスベストを含んだ天井材の工事は極めて困難になっています。2006年以前の建物で改修する場合は、必ずその建材にアスベストが含まれているかどうかを資格を持った人間が検査して、アスベストが含まれている場合は法律が定める厳重健康保全対策を行わなくてはなりません。それは言うまでもなく、そもそも地方の電気工業業界にはアスベスト工事資格者がいません。工事資格者がいるのはゼネコン級の大きな工事会社で、天井板を削る照明工事も壁に穴を開けるクーラー取り付け工事も費用や工期が倍になってしまっています。

官價の能力も足りない? 政府の環境行動計画で地球温暖化対策を立てた無謀な計画であった「2030年を目標年度としていた完全LED化」



# 照明・空調の大幅省エネで光熱費を半減

温室効果ガスを削減し、高騰する電気代を大幅削減！

## グリーン冷媒 ドロップインテクノロジー



# 自然冷媒で カーボンニュートラル

フロン脱却 → 『グリーン冷媒』  
への変更で可能に

**温室効果ガス脱却** CO<sub>2</sub> ↓  
数千～数万トン削減  
既存の代替フロンガス (R-32:675、R410A:2090) や二酸化炭素に比べて、グリーン冷媒の GWP (温室効果) は 0.072 と非常に低い値です。  
※既存機器の使用頻度及び設置環境によって削減効果は異なります。

**電気代削減** 25-55%!  
グリーン冷媒はフロンに比べ、分子が大きく軽いという特徴があり、機器への負荷が軽減される事で、消費電力の削減が期待できます。(多数の実績データに基づく)  
※既存機器の使用頻度及び設置環境によって削減効果は異なります。

**法定点検費が不必要**  
改正フロン法対象外  
グリーン冷媒はフロンガスではないので、法定点検が不要となりフロン点検管理は不要となります。

**設備寿命長期化**  
安全な低圧ガス  
コンプレッサーへの運転圧力が低い状態で稼働するため、機器への負荷が軽減され設備の切替時期を数年延長できることが見込めます。運転音も静かになります。

### 導入事例

秋田県：役所内施設	沖縄県：資料館	全国：ホテルチェーン
<b>事例内容 Case1</b> 施工日：2022.8.7-9 対象機器：エアコン 室外機 5台 室内機マルチ 26台 冷媒種類：R410a 電流値削減結果： <b>約54%削減</b>	<b>事例内容 Case2</b> 施工日：2023.12.15 対象機器：エアコン 室外機 41台 室内機 41台 冷媒種類：R32 電流値削減結果： <b>約38%削減</b>	<b>事例内容 Case3</b> 施工日：2024.2.2 対象機器：エアコン 室外機 240台 室内機マルチ 1,700台 冷媒種類：R410a 電流値削減結果： <b>約39%削減</b>

**ご導入まで**

- 1st **お打合せ** 導入機器の選定
- 2nd **現場調査** 導入機器現調実施
- 3rd **施工** 認定された施工員による施工
- 4th **結果報告** 温室効果ガス及び電流値の削減報告  
貴社内での使用頻度によるエビデンスを得たのちに、全体もしくは部分的な導入のご検討を頂けます

**対象施設**

- 業務用エアコンを使用している  
店舗・企業・工場・施設
- ルームエアコンを多数利用している  
ホテルや各種施設  
地方自治体  
電車・バス  
船・自動車など

現状のエアコンや冷凍冷蔵庫を入れ替える必要はありません！

# JA旭川厚生病院の実験で48%の電力を削減しました

**詳しくはこちらの動画をご覧ください**

既存のフロンをハイチルに交換すると  
約48.7%の電気料金を削減  
フロン4.2キロを破壊処理により  
GWP CO<sub>2</sub>削減効果  
8.8トン削減します

# アイリスオーヤマ(株)が衝撃のテレビCMを流しています



「社長、これが最後の一本です。」「ストックは？」

「ないです。もう製造禁止です。」

「そんな……」



「(蛍光灯が消えて) ああつ。」



2027年蛍光灯製造禁止



そんなに深刻にならなくても…



アイリスなら製造から工事・アフターサービスまで  
ワンストップでLED化



「バンザーイ! バンザーイ!」

LEDから省エネ社会の実現に貢献します

**アイラブアイデア**

アイリス LEDセンター

# 初期費用が不要で、電気料金削減額の範囲で支払えます

**公共工事では不可能な予算化が可能に** ※イメージ例

公共単価積算	民間相場に	リースで10年分割
公共建築単価	民間相場に	リース支払額
10億円 単年度予算化不能	3.3億円 約3分の1に (あかりみらい試算)	3300万円/年 単年度予算可能

図面データから即読み取り試算 **特許取得**

無料で全施設を見積り

スマホで撮影して図面を送るだけ

見積りが出来て始めて検討が始まる

**単月の費用分配イメージ** リースならば10年間の修繕費がゼロ円に

修繕費	修繕費削減	財政メリット
従来照明の電気料金	電気料金削減	LED照明分割払いに充当
LED照明の電気料金	LED照明の電気料金	LED照明の電気料金

現状照明の場合      LED照明化      削減コストの一部を導入費に

初期費用 0円      10年保証      財政メリットが発生

電気代削減の範囲内で支払うので新規負担なし

※公立病院は10年間の長期分割リースが可能。民間病院の場合はリース会社の与信審査があります。